

新型コロナ 感染拡大・危機的状況、抜本的な対策を！

新型コロナウイルス感染拡大の危機的状況に際しての緊急申し入れ（第8次）

荒川区長 西川太郎 殿

記

- （１）国、東京都に対し、医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を行うとともに、必要に応じて施設利用者全員を対象にした検査を実施するよう求めること。
- （２）国、都の動向に関わらず、直ちに区として公費負担で医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校などの従事者のPCR検査の定期的実施へ踏み出すこと。
- （３）世田谷区で準備している「いつでも、どこでも、何度でも」をめざすPCR検査体制なども参考に、区としてプール方式も含めてPCR検査センターの検査能力を抜本的に強化するための保健所をはじめ人員、設備など拡充すること。
- （４）無症状、軽症者の療養施設の確保と自宅待機者への食料を始めとした必要な物資や経済的支援を行うこと。
- （５）区内の感染状況について、日々の検査数、感染者数、陽性率など必要な情報についてホームページなどで開示すること。
- （６）学校、保育園の教室や備品の消毒作業について教員、保育士の負担を軽減するための人的支援を直ちに行うこと。
- （７）学校、保育園、介護施設などの衛生資材の充足状況について調査を行い、必要な追加支援を実施すること。

。以上

2020年8月4日

日本共産党荒川区議会議員団



8/4 副区長に申し入れる区議団



荒川区
内の感
染者状
況は、

7月28日の危機管理特別委員会の中で報告がありました。詳細は裏面にありますのでご覧ください。

荒川区議団は、8月4日、新型コロナウイルス感染拡大の危機的状況に際しての緊急申し入れ（第8次）を行いました。

新規感染者が東京だけでなく全国各地で過去最高を記録するなど、感染拡大は、危機的状況といえる状況になっています。荒川区においても、これまで、介護施設や学校、保育園、幼稚園などで感染が確認されるなど、今後

も予断を許さない憂慮すべき事態が続いています。区民の中では、感染への不安はもとより、暮らしや事業への大きな困難が広がっています。また医療体制の逼迫、医療崩壊によって救える命も救えなくなることへの懸念も広がっています。いま感染の急速な拡大を抑えることは、最重要課題となっています。すでに世田谷区では、「いつでも、どこでも、何度でも」をめざした検査体制に取り組んでいます。いま区として国や東京都に取り組みを求めるとともに、区民の命と暮らしを守る地方自治体の責務を発揮するときです。そのため、区として左の具体的取り組みを直ちに行うよう、求めました。



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議団
小林行男
ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 781

2020. 8. 9

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.

ne.jp

ホームページ

http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/

jp/~jcpa/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508

都営住宅の入居者募集！

◎家族向け（一人親世帯、高齢者世帯、心身障害者世帯、多子世帯、特に所得の低い一般世帯、車イス使用者世帯向け）

1290戸（ポイント方式）

◎単身者向け・単身者用車イス使用者向け・シルバーピア
385戸（抽選）

【配布期間】8月17日（月）から8月25日（火）（土、日は除く）

場所：区役所、各区民事務所、ふれあい館など

【締切】郵送で、8月28日金曜日までに必着。

【問合せ】J K K東京都営住宅募集センター

電話：0570（010）810

午前9時から午後6時（平日のみ）



法律相談会



毎月第3火曜日（午後6時から）北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。

できるだけ事前にご連絡ください。

8月の相談会は、お休みします

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

これまでの荒川区における新型コロナ感染状況・区の対応など

<感染者の状況>

感染者数の累計：158人（内院内感染28人、施設内感染23人、死亡者数7人）

<電話相談対応の状況>

累計相談数：5,637件

最大相談件数：174件（7月6日）

<PCR検査の実施状況>

累計検査件数：1,480件（医療機関：752件、PCRセンター：728件）

陽性率：6.8%（医療機関：11.1%、PCRセンター：3.4%）

（2020年7月25日現在）

※8月2日現在の感染者数：198人

<年代別>

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代
3人	2人	23人	34人	27人	20人	12人	17人	11人	7人	2人
1.9%	1.3%	14.5%	21.5%	17.1%	12.6%	7.6%	10.6%	7.0%	4.4%	1.3%

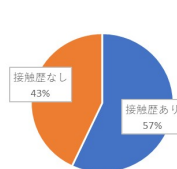
<性別>

男	女
79人	79人
50.0%	50.0%

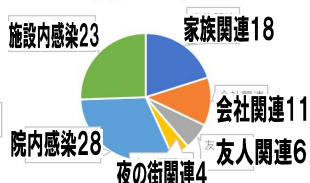
<症状>

有症状	無症状	不明
113人	26人	19人
71.5%	16.5%	12.0%

接触歴の有無



接触歴の内訳



7月28日（火）に健康・危機管理対策調査特別委員会が開かれました。荒川区内新型コロナウイルス感染症の状況について報告がありました。

区内老健施設でのクラスター発生、小学校、保育園、幼稚園での感染者発生について担当理事者からの報告、また、保健所からの報告があり、区のPCRセンターは6月には平均週2日、7月は週4回稼働しました。今後も検査需要が増える予想されます。抜本的な体制強化が必要ではないでしょうか。

先の6月会議で荒川区ではコロナ関連に充てるとした予備費が10億円を経常。現在の予備費充用状況は右下表のとおりです。第三次補正予算を組んで、更なるコロナ対策に取り組むべきです。



コロナ対策の礎となる保健所に現在、東京都から3名、区の他部署から6名が応援に来ています。担当係長1名が増員されたことが報告があり、6月から東京都の職員が3名減っています。早急に体制を整える必要があります。また、ホームページに主要な感染状況が報告されているものの、インターネット環境が整わない場合は情報が得られません。感染状況やクラスター発生、検査件数や陽性率等の情報提供なども積極的に随時公開されることを求められているのではないのでしょうか。

<コロナ関連経費予備費充用状況（令和2年7月22日現在）>

項目	充用額（千円）
子育て世帯臨時特別給付事業（クオカード配付）	251,394
介護・障害福祉サービス事業者への支援（1回目）	76,415
夏季休業短縮に伴う給食調理業務委託	32,160
新築図書館建設工事の契約変更に係る経費	18,202
オンライン学習支援に係るモバイルルーター貸出	17,602
ステイホーム・エココン事業	10,200
区内保育園等に対するマスクケース配付	1,854
ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業費（1回目）	82,054
合 計	489,881

格差と較差どう違うの

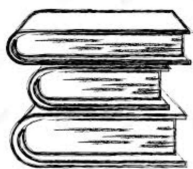
価格や賃金、生活水準などの差を「格差」といいます。「貧困と格差の拡大」「格差社会」などとよく使われます。

一方、「較差」という言葉があります。「二つ以上の事物を比較した場合の、相互の差の程度」のことです。

本来の読みは「こうさ」ですが、慣用で「かくさ」と読みます。「最高・最低気温の較差」のように、

1日の最高気温と最低気温の差を表す言葉として気象関係で使われます。

新聞などでは、なるべく「差」や「違い」に言い換えるようにしています。



『「赤旗」校閲部は真実をどう伝えるか』より

忘れてませんか？

一人一律10万円給付の特別給付金の申請

時間がかかりましたが、申請されたみなさんの多くに10万円が届きました。同時に、申請をしていない方も残されています。今回の特別給付金は申請をしないと給付されない仕組みです。すでに区民のみなさんには区役所から案内と申請書が届いているはずですが、



申請には期限があります。荒川区の場合8月31日（月）までになっています。

申請書がまだお手元にある方はぜひ、期限内に手続きをしましょう。

また、特別な配慮が必要な方、申請書を紛失してしまった方は、コールセンターへ。

荒川区特別定額給付金コールセンター

申請前の問合せ：03-3801-1100

申請後の問合せ：

0800-333-7777



○新型コロナの感染拡大が止まりません。その一方で国会は止まったまま。必要な法改正などの声も医師会のみなさんをはじめ、国民の多くのみなさんが政治の決断で、感染拡大を期待しています。安倍首相は、国会を開かないばかりか、まともな記者会見すらしないで国民に直接メッセージを發しません。国民が声を大きく上げましょう。「署名」に取り組みます。

